

K S K Q

自立生活センター神戸・Beすけっと徳島

神戸市長田区片山町2-17-9

☎078(641)6618

FAX078(641)6632

THINKING

YOUR LIFE NO. 11

(1997年6月18日)



↑あいらだち

今号よりTHINKING YOUR LIFEの編集を手伝わせて頂きます。**松本 誠**(まつもと まこと)といいます。この写真は、去年の夏に沢田さんらと一緒にフィリピンに行った時のもので、右端が私です。

次のページに自己紹介に文章が掲載されていますので、皆さん、是非読んでください。

も っ と、熱 く！

松本 誠

光栄にも、Beすけっと機関誌 THINKING YOUR LIFEの表紙を飾らせて頂きました。松本 誠といいます。本誌には、以前にも投稿させて頂いたのですが、名前が掲載されるのは今回が初めてではないのですが、覚えておられる方はおられますか？Beすけっとにも、ちょくちょく顔を出させていただいていますので、読者の皆さんの中には、お目にかかった方もおられるのではないかと思います。

神戸を生活の場として関わり始めて1年あまり。まだ日は浅いのですが、友人との関わりでは、顔見知り程度の頃も含めると案外長くて、その頃はお互いに、共にこの神戸で生活するとは考えてもいなくて、不思議な縁を感じます。

この間の人間関係の広がりとともに、わたしは聴覚障害者ゆえ、手話のできる人も増えてくれたらいいな、と思っています。そして、皆にもっと聴覚障害者のことを理解してもらいたいし、聴覚障害者の人たちももっと関わって欲しいという思いがあって、そういった日頃の関わりの成果か、少しずつですが顔見知りも増えつつあり、最近では初心者向けの手話講座も開催しています。最後のページに案内が載っていますので、関心を持たれた方は是非お越しください。全く初めての方から、少しは知っているけど基本から覚えたいという方まで、ていねいにお教えします。Beすけっとでは、まだまだ新人（といってもあまり若くはないのですが）なので、戸惑いながらも楽しみながらも、結構楽しみながら仕事をさせてもらっています。ここでは、コミュニケーションと情報保障を大切に考えられるので、疎外感を感じずに存在できるし、自分が何故必要とされているのかをよく考えてかかわっていきたいです。

皆さんとお会いできる機会がありましたら、お気軽に声をかけてください。人と話す（この場合の話すとは音声語のみならず）のは好きだし、人見知りもしない方なので、楽しくお話ができればうれしい限りです。

投稿 本論要旨 「障害者の自立について」

池澤 郁佳

介助会員番号 960501 (うそ)

「自立生活」、「地域で生活する」障害者が、どのように生活を送っているのか、私は、S氏の介助に入り、はじめて知った。

第1章では、日常生活に介助が必要な重度全身性障害者がどれだけいるか、資料を参考に述べ、実際、生活に踏み切るまでの住居確保から、生計をどのようにして立てているのかを述べている

一人暮らしという形で住居を確保する場合に、障害者だからということで、安全管理等を理由に断られることが多いようだが、それだけではないように思う。健全者が少なからず心の内に持つ、障害者に対する「かべ」があるからではないだろうか。自分とは違うと思っていたり、障害者だから一人で生活するのは無理だと言う先入観があるからではないだろうか。

第2節のタイトルは、「何故出て暮らすのか。」

S氏は、施設に入所してしまうと、どうしても地域の人々から障害者だけが孤立してしまうからという。

わたしは、S氏がどのような気持ちでいるのか知ろうとすることが二人で時間を過ごしていく上で大切なことだと思う。そうして人と人の関係が築かれていくのだと思う。障害者と健全者が一緒に地域で生活していくために必要なことは、障害者と健全者がお互いのことを知ることだといえる。

第2章は、「介助者との関係作り」について述べている。障害者が介助者を得るには、介助される側に人を引き付けるものが必要だということを感じた。私自身も、S氏の介助に入り、学ぶことがあり、人との出会いがたくさんあり、一つのことを貫き通す姿にひかれ、それを魅力に感じている。氏を通して出会いが多いということは、氏の魅力を感じている人が多いからだ考える。

第3節「介助とは。」

介助とは、自立生活において、障害者が主体であり、介助者は手足である。そして私自身は、「障害者がこう言ったからやった」ではなく、その中身について、納得してやりたい、障害者の一方通行ではなく。

第3章では「今後について。」

この先、自立生活を通して、自立を自分のものとするには、障害者はもちろん、その生活に関わってくる他者も一緒に働きかけてくる必要がある。私が実際S氏の自立生活に介助者として関わるようになり、今までただ漠然と「介護」をとらえていたが、S氏を通して、自立とは何なのかを考える機会に出会えた。「自立」とは、他人の援助や支配を受けず自分の身を立てること。独り立ち。と広辞苑に記されている。これを「自立」に当てはめると、S氏を含め障害者は「自立」出来ていないことになる。しかし、一番大切なことは障害者本人の責任による自己選択、自己決定だと感じる。この考え方は、どんな重度の障害者でも「自立」出来る可能性がある。

【編集部；注

池澤さんはこの春、神戸医療福祉専門学校を卒業し、秋から郷里の三重県上野にある高齢者施設での就職が決まっているそうです。おめでとう。この要旨は彼女がBeすけっとなどを通じて介助に入る中、感じたことの総決算(?)でしょう(笑)。

* Beすけっとは、昨年度は池澤さんに特にお世話になりました。走馬灯のように色々なことが思い出されます。総会も手伝ってもらった。介助者募集ピラマキも来てくれた。友達を紹介してくれた。ハッピーキャンプにも参加。もちろん介助活動も積極的に関わってくれたし、しまいには、澤田代表の介助コーディネートも現場で担ってくれました(事務局員がさぼっていたわけでは、決していない)。

おお！こうして振り返ってみるとほんまに世話になりまくりやんけ！感謝感謝。彼女の気持ちにBeすけっとはよく応えられたのでしょうか？

まあ、卒論のネタを提供できたからよしとしますか(笑)。】

1997年4月26日(土)

IL、ピアカン作ろう会報告

参加者：野橋、沢田・山田たけし、合田・堀之内、舟橋、米津・牧野

中尾、林田・船橋、川端富士子・井上・三上、井奥

宝塚障害者情報クラブ広内さん(初参加の神戸以外の障害者です。)

- ・まずそれぞれの自己紹介をやり、次にこれまでのIL、ピアカン作ろう会の話の流れを報告して、本題の会の話し合いに入りました。

☆ILPでみんながそれぞれ話し合いたいものを出してもらおうということで具体的にテーマを出してもらいました。

Yさん：お金に関して。年金のこと。海外旅行経験者の話を聞きたい。

Gさん：親との関係。Hさん：1か月に1回ぐらい集まって遊びに行く。

Nさん：障害者がどうやって自信をつけるか？

Y'さん：生保の他人介護料について。Fさん：障害者と介護者の関係の作り方。

Iさん：職場の人間関係。Hさん：異性との付き合い方。

F'さん：介護者の集め方。Fさん：障害者と差別について

Mさん：有料介護について。Kさん：介護者との関係について、集め方について。

Hさん：家の見つけ方に関して。

- ・S代表→全体的な方針を決めよう。(神戸らしいものを作る。)

- ・事務局でこれからやっていくILPに関して前回の会の後少し話し合いました。

そこでとりあえず半年間、月1回のペースで6回ぐらいやってみようという話をしました。期間を区切って分類していきたいです。

皆さんそれでいいですか？→はい。

★みんなから出たテーマを分類しよう

期間は10月からの6か月間

1回目 自分、社会を見つめる。

2回目 お金関係について

3回目 介護者関係について

4回目 //

5回目 人間関係について

6回目 自分・社会を見つめる

- ・準備をするうえでの余裕も必要だから10月から始めよう！

- ・海外旅行に関しては具体的すぎるし、大きな話だからまた別の機会にやりましょう。

- ・遊びに行くことに関しては、別の機会に遊びに行く計画を立てよう。

ILPをやろうということで、実行委員会を作ろうということと呼びかけました。

委員長：沢田。事務局長：野橋。事務局次長：合田。書記長：舟橋。

(広内) 松本。山本。米津。船橋。林田。です。

以上が報告です。10月からやりますので皆さんよろしくね。

野橋 順子(事務局)

「Beすけっと」に、こんな情報誌が来てま〜す！ その①

自立生活センター神戸・Beすけっとは、全国の障害者団体と細々ではありますが、連携・協力しながら日々の活動を行なっています。

そうした団体のほとんどは定期・不定期でニュース（機関誌・情報誌）を発行しています。そして団体間での情報誌の交換も行なっており、その結果、毎日のように「Beすけっと」事務局には全国から情報誌が郵送されてきます。マスメディアにはのらない貴重な情報がそれらを通して私たちに届きます。

しかし、事務局だけですべての情報を読みこなせるわけでもなく、埋もれていってしまうものがあるのも現状です。また、「Beすけっと」の会員の皆さんの中には、他の地域から神戸界限にきている人もいて、自分の地元で障害者をめぐってどんな出来事が起きているか興味を持つ人もいるでしょう。あるいは、自分の勉強や研究のため、障害者の情報にアクセスしたい方もいるでしょう。

そこで、いままで未整理だった情報誌を、整理・管理し、広く会員の皆さんに閲覧・貸与の機会を提供したいと考えています。

とりあえず、分類するときりがないので、大まかに3種類に分けて、それぞれの種類ごとに色別のファイルを用意し、ポチポチひまを見つけてとじています。興味がある方はぜひかみで確認したのち、事務局までどうぞ。

また、整理を手伝って頂けるボランティアも募集します。

ちなみに、分類は、

- ① 全国の自立生活センター
- ② 関西の障害者・市民・学生団体
- ③ その他



あくまで、分類は暫定的なものです。

次号から順次、「Beすけっと」に届く情報誌の紹介リストを掲載します。

障害者と健全者の出合い!

みんなで ハッピーキャンプ

神戸地区
大会

スタッフ
と
参加者
大募集!

'97



とき: 1997年7月26日(土)~27日(日)
 ばしょ: 東条町「健康の森」

☐ くわしいお問い合わせは...

みんなでハッピーキャンプ97
 神戸地区実行委員会

〒651 神戸市中央区南本町通
 5丁目2-21

えんぴつのはいぱう工場付近

Tel & FAX 078-252-0058



連載随筆

日々雑感

ふなはし ひろのぶ

第1回 なんて、僕がここにいるかと申しますと

やはり、チェルノブイリ原発事故がきっかけでしょうか……

●前口上

Beすけっと職員の舟橋です。今号から連載で随筆のようなものを書きつらねていこうかと考えています。毎日の生活のなかで、仕事もそれ以外のことも含めて、人は色々な出来事に出会い、何かしらを感じたり、考えたりします。このページでは不肖私が「日々、感じること」を、つれづれに書いてみるつもりです。障害者には直接関係のないことも載せてしまうかも知れません。そのときは苦笑して、読み捨ててください。

●本編

震災後の神戸を訪れてから丸2年余になる。東京の自立生活センターの職員として4年間、ほぼ毎日のように障害者と接している中で、自分の限界を感じて退職する決意をしたのが1994年のことだった。実際に仕事を辞したのは95年の3月末日だが、当時春からの進路は決めていなかった。のんびりしていた。しかし、世話になっている障害者の勧めもあって、1年契約で被災地障害者センターの職員をすることになり、またまた障害者相手の仕事に就いた。因果なことだ。被災地では多くの忘れがたい、そして、他の場では得難い、出会いが僕を待っていた。僕は共感し、怒り、泣き、笑い、考え、神戸市民になる道を選んだ。今も、Beすけっとから給料をもらって、ここにいる。

ところで、私は障害者と接する仕事を6年以上続けているのだが、それはどうしてだろうか。昨年、色々としんどい出来事が続き、正直仕事も満足にできなかった。自分が歩いてきた道、これから歩きたい道を見失い、途方に暮れていた。何人かの仲間の助けもあり、緩やかに自分を取り戻しつつあるのだが、自己回復は、最終的には自分の力によるものかもしれない。

落ち込んでいた頃、人と話すのが億劫だった。人と満足に話が出来ず、夕方部屋に逃げるように戻り、テレビばかり見ていた。プロ野球の日本シリーズが第4戦（5だったかな？）でオリックスの優勝が決定して、憤慨したものだ。

もっと続けてくれないと、他に見たい番組がないから。

話がそれた。まあ、そんな具合の時に、障害者ともきちんと向き合えず、自分に全く自信がなく、この場から逃げるばかり考えていた。

年明けから徐々に元気になってくる過程で、自分の過去をゆっくりと振り返り、自分のとってきた行動や思いの数々を検証する作業によりやうく入れるようになった。それは、自分だけで出来たわけではなく、多くの仲間の愛情、友情によるものであり、感謝の気持ちは忘れない。

ようやく本題。

唐突に聞こえるかもしれないが、僕が障害者につきあうようになったきっかけは反原発運動なのだ。1986年4月、旧ソ連のチェルノブイリ原子力発電所の事故を境に、都市における大衆的な反原発の感情は盛り上がり、それは行動となって日比谷公園に現出した。労働組合の動員などとは違って、未組織のひとりひとりの人間が自発的に集会に参加し、デモ行進を行なった。1987年は1万人、88年には約2万人の人々で銀座の街は埋め尽くされた。それは、当時の僕にとって、解放的な時空間であった。

しかし、その時僕を行動へとかきたてたものは、原発の事故に対する恐怖感だけでしかなかった。多くの人もそうであったかもしれない。その感情は次のようなアジテーション（扇動）の言葉をつむぎだす。

「原発事故は恐い。放射能の影響でソ連では8本足の牛が生まれた。人間の子供も『奇形児』、『障害児』がたくさん生まれる」と。

そういった僕の横っ面をびしゃりと張るような文章に出会った。堤愛子さんという障害者が書いたもので、

「障害を持った子供が生まれることが、そんなに恐いのですか。障害児は生まれてこないほうがいいのですか。いま、ここに生きている私たち障害者の存在をあなたたちはどのように考えているのですか？原発はありのままの生命を歪めるから問題なのであって、反原発運動家の言葉はまるで、優生思想（優れた生命だけ残そうという考え）のように聞こえます」。

大体そんな感じだったと思う。10年前だから正確には覚えていないが。

単純な僕はこの文章を読んだ後、障害者にとりあえずつきあってみないと、このへんのこと語れないなと思い、先輩に誘われ障害者の介助に入るようになった。今から8年ほど昔の話だ。（つづく？）

被災地障害者セクターのしくみだけと……

遺泉につかへ

東山 ひがしやま
市場 いちば
で で
買 か
物 もの

日時に
六時
29日
①
の
ミニマライト人ど
作業の
宴会
えんかい

集合場所：市営地下鉄 湊川公園駅の
エレベーター
E.V.のところに「い」
持物：お財布、お金（せと）代食費

向い合わせはう。
被災地陣営者せにー
お七八・六四二・〇一四二
お七八・六四二・〇九四二
なめてもかかります。

今①は
ニテミトの川岸義和
知て欲しいが一面の目的
なぞ、なぞ、今、これ
に、人々が少なからず、一緒に前
に行ったり、おこし入たり、かんが
えたり、が十分にできないの
です。そして、なによりも、紙の
いふことを、決まらずにいふ
まま、まづは、論議しいことと
す。

[illegible]

子か子か
 仲良くできん人が
 ...
 半歩も今は
 行きたか...
 ともよしとは
 とまだしんが
 ほしいんだ!



そんなお坊を
おうちにしたいから..
毎月一回、話あひ会としたり、
お坊の楽しさをひろげたり...

家へ来るところに
お寺があるよ。 そんなところに
あなたも参加してみませんか?

夏の夕べを...

ぼちぼち行こや西宮!

1997年 7月13日(日)

PM3~8:00

西宮北口市場空地に2.
(西宮北口東出口前)

フリーマーケット

屋台・夜店

野菜め

ソウルフラワーユニオンサミット

お〜まきちまき などその他

超グレートな出し物満載!

催し ぼちぼちいこ会

西宮市上大街1-6-36 代表 橋野央

T/F (0798) 53 2310

ピアカウンセラー
集中講座

・1997年8月14(土)~15(日)

・東京都多摩障害者スポーツセンター

参加費・12000円(資料代込み)

食事・宿泊費は別

申し込み... 7月10日(土)

主催・CILくらげ援助会

〜詳細はBeすれと、まで〜



手話 を勉強したいけど 機会がない。

という、その **お助け会!**

初級手話講座のご案内。

お問い合わせは

Beすれと、まで

期間: 6月~8月の第2・第4水曜日

時間: 7時30分~9時

場所: クリスチャンセンター 2F 会議室 -11-

劇団 態 変 '97 新作 公演 『死霊』 チケット発売中

電話一本でOK 早めに便利な電話予約をどうぞ！

電話予約はこんなにお得！

希望の日に確実に観られる一日時指定で予約番号をお知らせします

もちろん料金は前売と同じー精算は当日受付で

何枚まとめても電話は一本一ぜひお知合いとお誘い合せ下さい

- 方法その① ご来場の日時をお決め下さい。(日時指定のチケットです)
その② お電話下さい(FAXも可。障害者+介護者割引の取扱も
いたします)

アイホール 0727-82-2000

イマージュ 06-320-0344

- その③ 当日、開演1時間前より受付を開始します。受付で前売
料金でご精算の上、入場整理券をお受取り下さい。
開演30分前より、整理番号順にご入場いただきます。

★お願い：確実に期す為、ご予約の際は、予約先・予約日・ご来場の日時
・予約番号(枚数分)を、お控え下さい。

前売券発売中：チケットぴあ(割引券は取扱いません)

アイホール

イマージュ

前売：2800円 障害者+介護者割引5000円

☆情報誌『イマージュ』とは

私たちは、劇団態変での14年
間の演劇活動を通じて、従来出
会いそこねてきた異質なものの
見事なクロスオーバーを目の当
りにしてきました。この経験を
土台にして、もう一回り広げた、
「異文化の交差点」を探ろうとす
る、ジャンル分け無用の謎の雑
誌が「イマージュ」です。

是非ご購入を！

異文化の交差点 情報誌 **イマージュ** vol.9 (最新刊) 内容紹介 【特集】 地域からの創造

対談●津村卓&金満里

「地域で文化を創る・文化で地域を創る」

●老版画家の幸福な悩み 機光

●隠岐の「アトワーク」 橋本賢一

●八丈島パフォーマンス類末 中村典央

<連載>

愛しの日本は変態中

忙中酒有り

ハルのハルバル旅日記(新連載)

天鼓

小堀純

ハル

年3回発行 1冊500円

年間購読(3冊送料込・1000円)

郵便振込で第__号からと明記し
てお申込下さい。

郵便振込番号：

00920-8-320343

イマージュ宛

★ 情報誌「イマージュ」もおかげ様で
次号でvol.10を発行、発刊から4年目を
迎えようとしています。

<次号予告> vol.10 7月刊行予定

対談●中川敏&金満里

vol.7より「エロと態変のアツく
面白い表現談義。乞御期待！



「世の遊びは、すべて死の世界への捧けもの」

アイホール自主企画 vol.86
劇団 態 変 '97 新 作 公 演

死 霊

作・演出
金満里

出演

井上朋子

金満里

木村年男

小泉ゆうすけ

演奏

シルヴァン・旭西・ギニヤール

鼓動・他、他、他

アイホール

アイホール自主企画 vol.86
アイホール自主企画 vol.86
アイホール自主企画 vol.86

1997年6月
27日 金 7:30
28日 土 3:00 / 7:30
29日 日 2:00

日時指定・全席自由

前売 ¥2,800 当日 ¥3,000

障害者・介護者割引 ¥5,000

アイホール・アイホール・アイホール

アイホール・アイホール・アイホール

アイホール・アイホール・アイホール

アイホール・アイホール・アイホール

アイホール・アイホール・アイホール

アイホール・アイホール・アイホール

アイホール・アイホール・アイホール

アイホール・アイホール・アイホール

アイホール・アイホール・アイホール

アイホール・アイホール・アイホール

アイホール・アイホール・アイホール